

1～4年次後期・選択

1単位・30時間

【概要・目標】

ライフステージ別の栄養と食事内容が理解でき、適切な食事の実践により自身の健康管理ができる。病態別の食事療法の方針を理解し治療食の調理演習を行うことで、病態に応じた食事療法の支援ができることを目指す。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 演習についてのガイダンス
- 2) 一般治療食（調理実習）
- 3) 妊産婦、離乳期の食事（調理実習）
- 4) エネルギーコントロール食（調理実習）
- 5) タンパクコントロール食（調理実習）
- 6) 脂質コントロール食（調理実習）
- 7) 摂食・嚥下調整食（調理実習）
- 8) 演習のまとめ

【評価】

演習レポートと演習課題（70%）、実習態度（30%）

【教科書】

無し
講義、演習用プリントを配布

【推薦参考図書】

系統看護学講座 専門基礎分野「栄養学」医学書院
日本糖尿病学会 「糖尿病食事療法のための食品交換表」文光堂
食品成分表「七訂 食品成分表」女子栄養大学出版部

【その他】

- ・「食の科学」の履修者に限る。
- ・設備及び教育効果等の見地から、履修者は1班12名の隔週ごとの2班24名に限る。